

協会記事

理事会（平成 15 年度第 7 回）

平成 16 年 3 月 22 日（月）17：30～20：00，当協会役員室において開催。出席：肥田 昇（会長），嶋崎 吉彦（副会長），野上道男（副会長），大島章一，大森博雄，田村俊和，長瀬和雄，西田耕一，三上岳彦，盛谷智之の各理事，田邊 裕監事（佐藤俊典監事は欠席）および事務局。

・議事録の承認：平成 15 年度第 6 回理事会議事録は原案の一部を削除して承認された。

・報告事項：

1. 編集委員長報告：大島理事

112 巻 6 号「特集：断層帯の物質科学と地震の発生過程」は，遅れたが総目次を加え，213 ページで発行した。100 部増刷し，うち 60 部は予約販売，20 部は関係者などへ頒布済み。113 巻 1 号は通常号。論文 8 編と米国巡検報告等で 165 ページの予定。2 号は「特集：国際山岳年山岳環境の現状と課題」で岩田委員担当で編集準備中。16 編中 8 編を受理。気候関係の編集委員として山川修治会員の参加を要請，決定。編集用レーザープリンタを更新した。

2. 行事委員長報告：三上理事

資料を使って 15 年度の見学会として「松本盆地・伊那谷」巡検を実施した報告があった。参加者枠を広げたので 40 名の参加者があり，内容もよかったという参加した理事からの評価もあった。更に 16 年度の春季講演会の講師・テーマ，秋季講演会の日時・会場も報告された。

3. 図書委員長報告：長瀬理事

地学雑誌のバックナンバー CD No.6 が完成，納品されたと報告があった。

4. 日本地学史編纂委員会報告：大森理事

2 月 20 日および 3 月 12 日に開催された委員会について報告された。1 回の開催予定が 2 回になったこと，地学雑誌に投稿する原稿の進捗状況などが報告された。

5. 将来計画委員会報告：野上理事

2 月 20 日に田邊監事（前期委員長）の参加を得て開催された委員会について報告があった。

褒賞制度については 2 種の賞を検討したが，各方面の調査の結果，「東京地学賞」については困難が多いとの判断が報告され，これを踏まえ，理事会として 1 つの賞を出す方向で委員会に再検討を依頼することになった。

6. 庶務委員長報告：嶋崎理事

2 月 12 日実施の都税事務所の固定資産税についての実地調査とその後の情報について報告された。また地理関係の補助金審査委員等の候補者推薦依頼，IGC 大会向けの協会紹介用原稿の件なども報告された。更に来る 24 日に職員給与や人事について庶務委員会を開催する予定であるとの報告があった。

・議題：

1. 会員の入退会の承認

入 会：小松俊文，大井信三，横瀬久芳 3 名
退会（逝去）：新井房夫 1 名
退 会：池崎文也，菊地 豊，重村利幸 3 名

2. 平成 16 年度事業計画および予算について

前回に続き，行事委員会の計画の表現法および広報委員会のウェブ掲載の範囲（したがって予算額）が集中的に検討された。行事委員会の件は決着を見たが，広報委員会の計画については更に検討が必要との結論になり，取りあえず前年同額の予算を計上することとし，後日有志理事が集まり，検討を続け，予算措置が必要になった場合は予備費で対応することになった。

3. 総会，評議員会および春季，秋季講演会の日程について

平成 16 年度第 1 回評議員会を 5 月 22 日（土）13：00 から，総会を 13：50 から当協会で開催することに決まった。また春季講演会は総会の後 14：30 から講堂で，秋季講演会は 10 月 16 日（土）14：00 から浜離宮朝日ホールで開催することに決まった。

4. その他

科研費補助金関係の当協会の候補者等として，地理関連理事，監事の推薦になる 8 名を推薦することを承認した。

また，国際地理学会用の当協会紹介用原稿については広報委員会が準備することになった。